

# 令和5年度事業報告

【公益社団法人幸田町シルバー人材センター】

## I はじめに

令和2年から世界中に広がった新型コロナウイルス感染症は、凄まじい勢いで感染拡大となりましたが、令和5年5月に感染症2類から5類へと緩和され、個人の選人の尊重し、自主的な取り組みをベースとした対応に変わり、シルバー人材センターも以前の活動ができるようになりました。

こうした中、令和5年度の請負契約金額の総額は、217,710千円で対前年度5,305千円、2.5%の増となりました。また、受注件数は、1,441件で対前年度比12件の増となりました。

労働者派遣事業においては、請負契約から派遣契約に切替わった事業所もあり、契約金額は、14,329千円で、対前年度比3,283千円、29.7%の大幅増となりました。

請負、労働者派遣事業の契約金額の合計は、232,039千円、受託事業収益の合計は、226,554千円となり、前年度比3.6%の増という状況となりました。

一方、会員拡大については、当センターの最重点課題と位置づけて、広報誌「シルバーこうた」の全戸配布、会員増強月間の取り組みや会員紹介カードを活用した入会促進を進めてまいりました。会員の高齢化が進んでいることもあり、加齢、本人の病気、家族の介護などの理由から41名の退会者がありましたが、前年度末比8名の増となり、363名という結果となりました。

安全就業面では、残念ながら傷害事故2件、損害賠償事故3件の計5件が発生しており、課題を残す結果となりました。シルバーの就業においては、何よりも安全が優先されるため、引き続き安全就業の推進に努めていきたいと考えています。

今後も、会員の感染症予防と健康を最優先に、引き続き会員拡大と就業機会の拡大を目標に掲げ、「自主・自立、共働・共助」の精神に「貢献」を加え、より一層町民や地域の皆さまに愛され、信頼されるセンターを目指して、各事業に取り組んでまいります。

## II 事業実施報告

### (1) 会員数増強の取り組み

令和5年度の会員目標数は、第2次事業推進5か年計画の目標である395名を目標に定め、会員拡大の取り組みを次のとおり実施しましたが、65歳までの雇用の義務化や70歳までの雇用継続の努力義務化などにより、60歳代の入会者は減少しておりますが、一定の新規入会者もありました。

- ア 入会説明会の毎月定期開催及び随時開催
- イ 「会員増強・拡大月間」を設定し、会員一人1人以上の加入の呼びかけを依頼
- ウ 会員紹介カードの活用による加入促進の実施
- エ 会員募集を掲載した「シルバーこうた」の年2回発行
- オ 町発行の「広報こうた」に入会説明会記事の掲載
- カ シルバーショップ「お花畑」の開設による入会機会の創出と退会抑制
- キ 職場体験会の開催

(入退会会員数)

項目	令和5年度	前年度	対前年度比
入会会員数	49人	43人	114.0%
退会会員数	41人	37人	110.8%
増減数	8人	6人	133.3%
年度末会員数	363人	355人	102.3%

(2) 相談事業の実施

高齢者の雇用、就業に伴う相談窓口を常設し、入会希望者や地域住民、発注希望者等の方からの相談に対応しました。

(3) 就業機会の確保と組織的提供(請負・委任)の推進

- ア 就業開拓推進員を配置しましたが、定期的な企業訪問等ができずに、仕事の新規受注や開拓までには至りませんでした。
- イ 就業機会を確保し、就業を希望する会員に就業情報を提供しました。
- ウ 就業機会拡大のため、幸田町を始め関係行政機関、公益社団法人愛知県シルバー人材センター連合会(以下「県シ連」という。)等との連携を図り、適正な事業運営の推進・改善を図りました。

(契約金額等の実績)

項目	令和5年度	前年度	対前年度比
就業延人数	44,282人日	45,112人日	98.2%
契約金額	217,710千円	212,405千円	102.5%
配分金額	180,784千円	180,801千円	100.0%

(4) 指定管理事業の実施

令和3年度から5年間の幸田町高齢者生きがいセンター及び幸田町高齢者ふれあいプラザの指定管理を受託し適正な管理運営に努めてきました。高齢者生きがいセンター、高齢者ふれあいプラザにおいても新型コロナウイルス前の利用に戻り、利用者も増えています。しかし、残念ながら高齢者ふれあいプラザは、町の方針で令和6年3月末で廃止となり、指定管理は終了しました。

(指定管理業務の収支状況)

施設名	幸田町高齢者 生きがいセンター	幸田町高齢者 ふれあいプラザ
収入(町委託料)	5,302 千円	3,542 千円
支出(経常経費)	5,183 千円	3,595 千円
差 引	119 千円	△53 千円
令和5年度利用者数	8,635 人	5,655 人
前年度利用者数	8,314 人	3,785 人
前年度比	103.8%	149.4%

(5) 有料職業紹介事業の実施

会員からの就職希望等の相談もなく、実績はありませんでした。

(6) 労働者派遣事業の推進

シルバー事業における高齢者の多様な働き方のひとつとして、県シ連を派遣元として、幸田町事務所を開設して労働者派遣事業を実施しました。請負契約から派遣契約に切り替わった事業所があり、契約金額等は前年度 29.7%と大幅な増となりました。引き続き、全シ協の補助事業である「高齢者活用・現役世代雇用サポート事業」を活用し、派遣事業の推進を図りました。

(契約金額等の実績)

項 目	令和5年度	前年度	対前年度比
登録会員数	66 人	56 人	117.9%
受注件数	16 件	18 件	88.9%
就業延人員	2,382 人日	1,788 人日	133.2%
契約金額	14,329 千円	11,046 千円	129.7%
受託収益	1,369 千円	1,195 千円	114.6%

(7) 介護予防・日常生活支援総合事業の推進

介護予防・日常生活支援総合事業については、事業開始6年目となりました。

令和4年4月から地域包括支援センターが北部、中部、南部地区と3分割されたこともあり、高齢者へのきめ細かな相談体制が整う中で、利用者、契約金額等も前年度から増加しており、今後も地域包括支援センターとの連携強化を進めていきます。また、令和6年6月末で町の指定が終了するため、引き続き指定が受けられるように、準備を進めます。

(利用実績)

項目	令和5年度	前年度	対前年度比
利用者数	21人	13人	161.5%
就業延べ人数	841人	665人	126.5%
契約金額	1,903千円	1,576千円	120.7%

(8) 就業機会につなげる講習会等実施事業の推進

会員の技能習得・向上と会員の事故防止・安全意識向上及び会員拡大につなぐための講習会を開催しました。

(講習会等開催状況)

講習会等名	開催日	場 所	参加者数
剪定安全講習会	令和5年5月2日	高齢者生きがいセンター	会員8名
草刈安全講習会	令和5年8月21日	高齢者生きがいセンター	会員2名
家事援助講習会	令和5年9月19日	西尾市総合福祉センター	一般2名 会員2名
ヤクルト健康講座	令和5年10月18日 10月25日	高齢者生きがいセンター	一般39名 (延べ)
シニア向けスマホ教室	令和5年10月2日 ～令和6年1月22日	高齢者生きがいセンター	会員及び 一般73名

(9) 調査研究事業の実施

センター事業発展のために企業、行政等との調整を行い、新規受注及び会員の就業機会につなげました。

ア 町内企業等からの新規受注相談等に対応し、受注可能な仕事は、センター会へ就業機会を提供しました。

イ 令和6年度の配分金基準単価見直しのため、西三河ブロック管内シルバー人材センターの配分金単価等を調査しました。

ウ 役員視察研修会を4年ぶりに実施し、滋賀県米原市シルバー人材センターの田んぼっこカフェ等の取り組みを学ぶことができました。

エ 事務所移転がスムーズに進むように安城市シルバー人材センターの取り組み経験を調査しました。

オ 喫茶、軽食、弁当作りに実績のある長久手市シルバー人材センターの取り組みを学ぶことができました。

カ インボイス制度に的確に対応できるようにするため、西三河ブロック管内シルバー人材センターの対応方針を調査しました。

(10) 安全・適正就業の推進

会員の就業には、何よりも安全が優先されるため、会員の安全意識の向上、作業中の事故防止、就業形態の適正化を図るために各種事業を実施しました。

- ア 令和5年度安全・適正就業実施計画の策定
- イ 安全・適正就業委員会の開催(3回)及び現地パトロール指導(4回)
- エ 安全就業のための講習会の実施(草刈安全講習会、剪定安全講習会)
- オ 会員就業先 80箇所への熱中症パトロール実施
- カ 県シ連主催「安全・適正就業研修会」に参加
- キ 各職班での就業前ミーティングで安全就業・事故防止を指導

(11) 当センターの活動等において周知を図る事業の推進

当センター事業の発展には、会員の増強が不可欠であるため、シルバー人材センターの理念、活動を町民及び関係者に広く周知し、会員確保を図るべく普及啓発に努めました。

- ア 機関紙「シルバーこうた」を年2回発行し、シルバーの情報発信、普及啓発に努めました。
- イ 町の広報誌「広報こうた」に会員募集記事を掲載しました。
- ウ インターネットのホームページを適時更新し、情報発信に努めました。
- エ 4年ぶりに「こうた産業まつり」に出店参加し、会員募集ティッシュ配布など普及啓発を実施しました。

(12) ボランティア活動を通して地域社会に貢献

地域社会への貢献と当センターの普及啓発を目的に会員の協力を得て、ボランティア活動を実施しました。

(ボランティア活動実施状況)

活動名称	開催日・場所	参加人数等
「秋の全国交通安全運動」の街頭啓発	令和5年9月28日 相見地区交差点周辺	会員 38名 職員 7名
町内小中学校へ雑巾寄附	令和5年11月28日 南部中学校、荻谷・深溝・豊坂小学校	作成会員 46名 作成雑巾 217枚
清掃ボランティア活動	令和5年12月5日 幸田中央公園周辺	会員 26名 職員 6名

(13) 外部監査の受け入れ

高齢者雇用安定法に基づく、当センターの公益法人としての適正な事業運営及び町補助金の適正執行及び事業運営監査・指導等を次のとおり受け入れま

した。

監査等の名称	開催年月日	場所等
愛知労働局経理事務指導	令和6年1月29日	高齢者生きがいセンター
幸田町事務監査(福祉課)	令和6年2月16日	高齢者生きがいセンター

(14) 総会・理事会等の開催

当センターの事業推進のため、次のとおり会議等を開催しました。

(会議等開催状況)

会議名	開催日	開催回数
決算監査会	令和5年5月11日	1回
定時総会	令和5年6月20日	1回
理事会(文書報告除く)	原則毎月開催	12回
総務広報委員会	令和5年6月22日他	2回
就業開拓・会員増強委員会	令和5年6月29日	1回
安全・適正就業委員会	令和5年7月6日他	3回

(15) 高齢者生きがいセンター(事務所)移転関係

現在の幸田町高齢者生きがいセンターを令和7年3月に大草広野地区に移転する計画が町より話があり、令和5年1月から事務所移転プロジェクトを立ち上げ令和6年1月まで内部打ち合わせや町・設計士を交えたプロジェクト会議を計17回開催し、計画をまとめました。

最終的には、令和6年度に予定されていた、施設改修工事費や移転費用など町の予算措置がされなかったことから、令和7年度の移転は先送りとなりました。